

全22篇の“読む”音楽

三月一日のシューベルト 音楽批評の試み 舩木篤也 著



——「対旋律」が、ゆさぶる。伝説の月刊誌『レコード芸術』にて、読者から圧倒的な支持を得つつも、突然の休刊によって終了を余儀なくされた音楽評論家 舩木篤也氏の連載「コントラプンクテ 音楽の日月」。その珠玉の名批評の数々が、全面的な改稿の後、タイトルを変更して遂に単行本化されました。「コントラプンクテ（対位法）」の原題通り、「音楽」と「音楽とは異なる世界」を交差させることで、対旋律が主旋律を引き立てるが如く、また隠された意図を顕在化させるが如く、音楽の新たな魅力や人生の味わい、世界への問題意識を浮かびあがらせます。3.11をめぐる映画を通してシューベルト音楽の意味をたずねる表題作ほか、「マーラー×緊急事態宣言」、「バッハ×させていただく」、「ワーグナー×川上未映子」など、意外性と刺激に満ちた音楽批評が展開します。

絶賛発売中！ 定価 2860 円（本体 2600 円＋税） 四六判 304 頁



音楽之友社

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂 6-30
TEL.03-3235-2151（営業） Fax.03-3235-2148
<https://www.ongakunotomo.co.jp/>